

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 6月 28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171200124		
法人名	株式会社 恵み野介護サービス		
事業所名	グループホーム だんらん		
所在地	恵庭市有明町1丁目8-8 (電話) 0123-32-6626		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年6月27日	評価確定日	平成19年7月18日

【情報提供票より】 (19年6月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算	12.8人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1~2	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	12,000~20,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900 円

### (4) 利用者の概要(6月27日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	6 名	要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	名	要支援2	1 名
年齢	平均 84.5 歳	最低 70 歳	最高 96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵み野病院・恵庭南病院・ユーアイ歯科
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地の中にあるグループホームで、建物内に居宅サービス事業所が併設されている。建物は広く明るい造りで、エレベーターも設置されるなどバリアフリーが行き届いている。スタッフのスペースが充実し、各部屋の入り口や共有空間が見渡せるようになっている。介護計画の職員間での情報共有、家族の意見の反映など、改善が図られている。社内のほかの介護施設との交流や協力も活発である。職員同士や管理者と職員の関係も良好で、職員は利用者に優しくゆったりと話し掛け、ホーム全体に明るい雰囲気を作っており、利用者は自由に楽しく過ごされている。家族のホームに対する満足度も高い。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	介護計画の職員間での情報共有、家族の意見の反映など、その後の改善が実行されている。「ホーム便り」の発行頻度も増えている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	昨年度の評価をもとに改善項目に取り組み、成果をあげている。自己評価にも全員で取り組んでいる。職員は評価の意義や必要性を理解しており、今後、ガイドブックを参考に理解をさらに深める方針としている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回のペースで運営推進会議を開催し、運営会議の趣旨、グループホームとは、外部評価、行事などをテーマに活発に意見交換している。会議の議事録も作成されている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	来訪時や電話での報告のほか、運営推進会議に一部の家族に参加してもらい意見をいただいている。またホーム内に苦情箱を設置している。重要事項説明書に第三者の苦情処理窓口を明記している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、盆踊りや、ごみ拾いに参加している。グループホームの夏祭りに地域の方に参加をいただくなどの交流がある。町内会長に老人会への参加希望を出しており、運営推進会議でもさらなる交流の活性化を呼びかけている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり、いっしょに、たのしく」を基本とした企業としてのケア理念とスタッフ理念がつくられている。スタッフ理念の中の「住みやすい環境の中で」のフレーズに地域との交流や関係強化の心構えを示している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケア理念とスタッフ理念はカードにして職員が携帯しており、入社時にも詳しく説明されている。職員が悩んだり迷うとき立ち返るようにしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、盆踊りやごみ拾いに参加している。グループホームの夏祭りに地域の方に参加をいただくなどの交流がある。町内会長に老人会への参加希望を出しており、運営推進会議でもさらなる交流の活発化を呼びかけている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の評価をもとに改善項目に取り組み、成果をあげている。自己評価にも全員で取り組んでいる。職員は評価の意義や必要性を理解しており、今後、ガイドブックを参考に理解をさらに深める方針としている。		

恵庭市 グループホームだんらん

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回のペースで運営推進会議を開催し、運営会議の趣旨、グループホームとは、外部評価、行事などをテーマに活発に意見交換している。会議の議事録も作成されている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のグループホーム連絡調整会議に参加しており、常に市の担当者が出席し情報を提供してくれている。運営推進会議に地域包括支援センターの方に参加してもらっている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回の「ホームだより」を作成し、金銭出納報告も行なっている。また、来訪時の報告、電話での報告を行なっている。連絡漏れがないように「ご家族への連絡表」というシートを活用している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時や電話での報告のほか、運営推進会議に一部の家族に参加してもらい意見をいただいている。またホーム内に「苦情箱」を設置している。重要事項説明書に第三者の苦情処理窓口を明記している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	まれに職員の交代がある場合があるが、半月程度の引き継ぎ時間を設け、スムーズに引き継ぎを行なっている。交代による利用者のダメージは防がれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員との面談で将来の希望や方向性を確認し、研修への参加、資格取得などを支援している。ほかのグループホームへ実地研修や勉強会も開催している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所は、石狩ブロックの管理者研修の事務局となっており、同業者の交流の窓口としての役割を果たしている。管理者研修を企画したり、スタッフ交換の交流も行なっている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に2～3回はホームにきてもらい、本人が納得したうえで入居を決めてもらっている。ほかの利用者との相性も考慮して入居を決定している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とのコミュニケーションを大事にしており、一人ひとりのペースに合わせて活発に話掛けている。食事の支度でアドバイスをもらったり、職員が風邪をひいたときに心配してくれるような関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活歴や願い、希望、うれしいこと、不安なこと等をアセスメントシートに記録し、あとから得た情報も蓄積している。日々のケアの中で本人の希望を優先している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を作成する際は、関係する職員全体で意見交換を行ない、介護計画に反映している。家族にも来訪時や電話・郵送で意見を聞き、計画に反映している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに介護計画を作成している。毎月の会議で見直しし、状況が変わればその都度計画を変更している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	居宅介護やデイサービスなど企業内のほかのサービスと連携し、通院や外出支援を無償で行なっている。医療連携体制を活かした支援を行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの看護師が窓口となり、提携医療機関との情報共有を密に行なっている。利用者の希望があれば以前からの掛りつけ医への受診も支援している。看護記録を整備し、家族にも情報を提供している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族には、ホームで医療行為はできないが提携医療機関でターミナルケアに対応してくれる旨を理解してもらい、同意書ももらっている。職員間でも方針が共有化されている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「ホーム便り」に写真を出す場合など、家族に事前に同意を得ている。日頃の言葉掛けも本人のプライドを尊重している。書類などの個人情報の管理を徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者は、自分のペースで過ごしており、会話も多く生活を楽しんでいる。入浴や買物、散歩なども本人の希望に沿って支援している。		

恵庭市 グループホームだんらん

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて調理や片付けに参加している。職員が利用者と同じテーブルで楽しく談笑しながら食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日、回数など、本人の希望に合わせており、希望があれば夜間の入浴も支援している。浴室は清潔で広く、入浴剤を使用している。入浴を拒む方には言葉掛けや入浴したくなる雰囲気を作るなど工夫している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自立できる方も多く、食事の手伝い、タオルたたみなど家事を担っていただいている。共有空間に習字や絵、貼り絵など利用者の作品が掲示されている。ホームで犬を飼い、利用者の癒しに役立っている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物や散歩のほか、毎月のように行事を企画し、回転寿司や温泉に出かけるなど外出支援を行なっている。外出には、社内の別の事業所のリフト車を利用できる。近隣のほかのグループホームとの交流も活発である。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は、鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は玄関の鍵をかけておらず、出入り口の戸に鈴を設置している。玄関前は、居宅介護事業所の窓に面しており、外出時に事業所の職員が気づきやすい設計になっている。		

恵庭市 グループホームだんらん

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近所に消防署があり、消防署の指導のもと年2回程度避難訓練を行なっている。消防署の協力が得られやすい環境にある。	○	災害の際に地域の協力が得られるよう運営推進会議等で対策をテーマするなどの取り組みを期待する。また緊急時の食料や水など災害対策の備品の準備も期待する。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	半分程度の回数の食事は、材料の提供を業者に委託しており、業者の栄養士が栄養バランスやカロリーを計算している。そのほかは、業者の献立を参考に自分たちで栄養バランスを考えて作っている。食事量や水分摂取量をバイタル表に記録している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るく広く清潔でゆったりしている。臭いや音、光も調節されており、気になることはない。バリアフリーも行き届いている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には各利用者の馴染みのものが持ち込まれていたり、家族のプレゼントの品が飾られ、安心して過ごせる場所になっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。